

道路10 高松自動車道(徳島県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
香川196	NEXCO西日本編「四国横断自動車道・国道11号高松東道路(鳴門～高松西間)(事後評価)」(平成19年度NEXCO西日本事業評価監視委員会資料、2008年)、3-9頁	高松自動車道鳴門～香川県境間の事業の直接効果 (1)周辺道路の交通量の分散 高松道の開通により並行する一般国道の交通量が減少しており、交通量の分散化が図られている。 (2)交通量の増加 全線開通翌年度(平成15年度)の日平均交通量は、津田東～板野、板野～鳴門の各区間で増加傾向にある。 (3)所要時間の短縮 高松市から鳴門市までの所要時間は59分短縮(1時間52分→53分)。旅行速度は35km/h向上(37km/h→72km/h)。 (4)交通事故の減少 並行する一般国道と高速道路を合わせた死傷事故率は約3割減少。 高松自動車道鳴門～香川県境間の事業の間接効果 (1)高速バスの利便性向上 香川県と京阪神間の移動手段は鉄道から高速バスに移行。高速バスの利用者数・運行便数は高松道の開通と並行して増加。 高松道の高速バス停周辺に地元自治体が駐車場を整備。